

ブリッジBOX

拠点間VPN通信構築のご案内



ブリッジBOX 拠点間VPN通信構築

ローカル管理のために陸の孤島状態になっているIoT/セキュリティシステムを、「安全・安心・簡単」にリモート接続

ブリッジBOX 概要



VPN通信に必要な要素をオールインワン

⇒お客様の既存ネットワークを利用しない導入が可能！



専用SIM搭載

⇒回線手配が必要なし！

※SIM接続に必要なUSBドングル含む



事前設定済み

⇒ポート開放やVPN設計などの面倒な作業や設定が一切なし！

※カメラ等の拠点内の機器のデフォルトGWの設定が別途必要になります。

	寸法
本体	D160mm x W160 x H45 mm
USBドングル	約88mm x 幅 約30mm x 厚さ 約12.2mm
AC電源アダプタ	94.5mm x 40.5mm x 33.0mm(突起含まず) ケーブル長約1.8m(AC側)/約1.5m(DC側)

※ブリッジBOXとUSBドングル間は30cm程度のケーブルで接続します。

※壁面等への設置する場合は、ブリッジBOXとUSBドングルを固定するためのブラボックスが別途必要になります。

主な利用システム



カメラシステム



入退室管理システム



生体認証システム



IPインターホンシステム



その他
(拠点を越えて、
ネットワークで管理したい機器)

ブリッジBOXによる拠点間VPN通信



【要望】

- ローカルネットワークで構築されているカメラなどの社内設備に、必要な時に安全にリモートからアクセスできるようにしたい。

【課題】

- クラウド型カメラに入れ替える？システム全体を入れ替えないといけない？
- あまりコストはかけられない。専門知識を持ったIT担当者がいない。システム設計が大変。

ブリッジBOXなら・・・

むずかしいIT知識は不要です

リモート接続したい拠点のローカルネットワークに「ブリッジBOX拠点装置」を接続するだけで、双方のネットワークがVPNで安全につながります。

※ローカルネットワーク内の社内設備のデフォルトGWの設定が別途必要になります。

※拠点のローカルIPアドレスが同一セグメントで運用されている場合でも、カスタマイズ対応にて利用が可能です。お気軽にご相談ください。

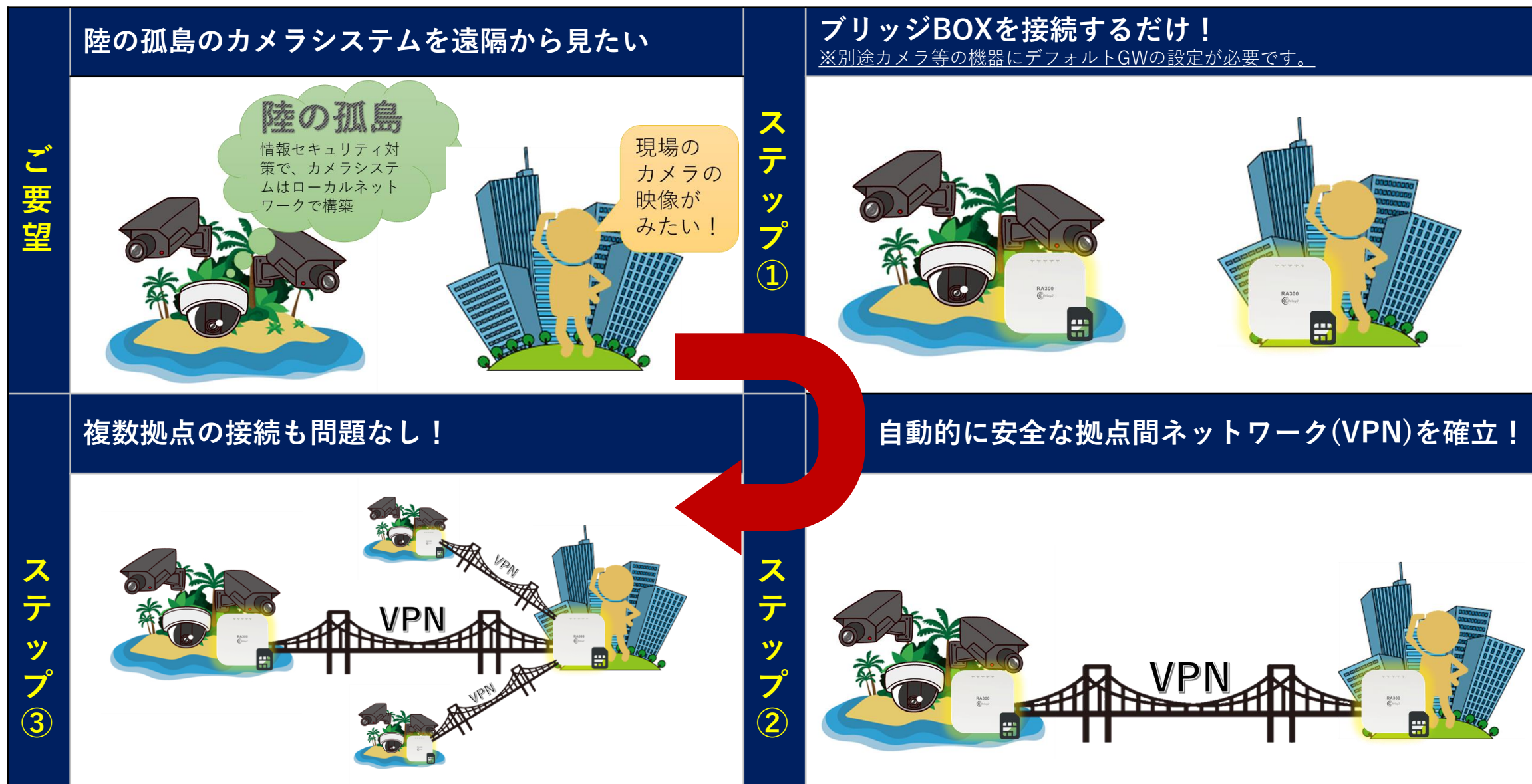
回線手配も不要です

専用SIMが搭載されており、お客様による別途通信回線の手配が不要です。必要なときにリモート接続することで、通信コストも抑えつつ、ローカルネットワーク配下の社内設備にいつでもリモート接続が可能になります。

ブリッジBOX

拠点間VPN通信構築

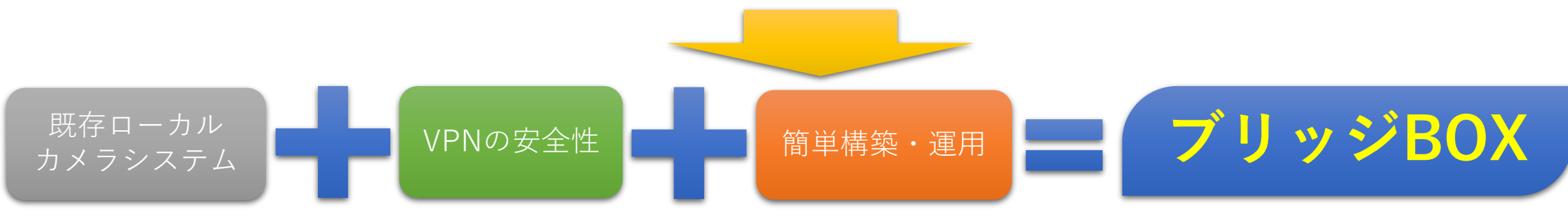
導入イメージとステップ



豆知識

カメラシステムの映像を遠隔から見る方法

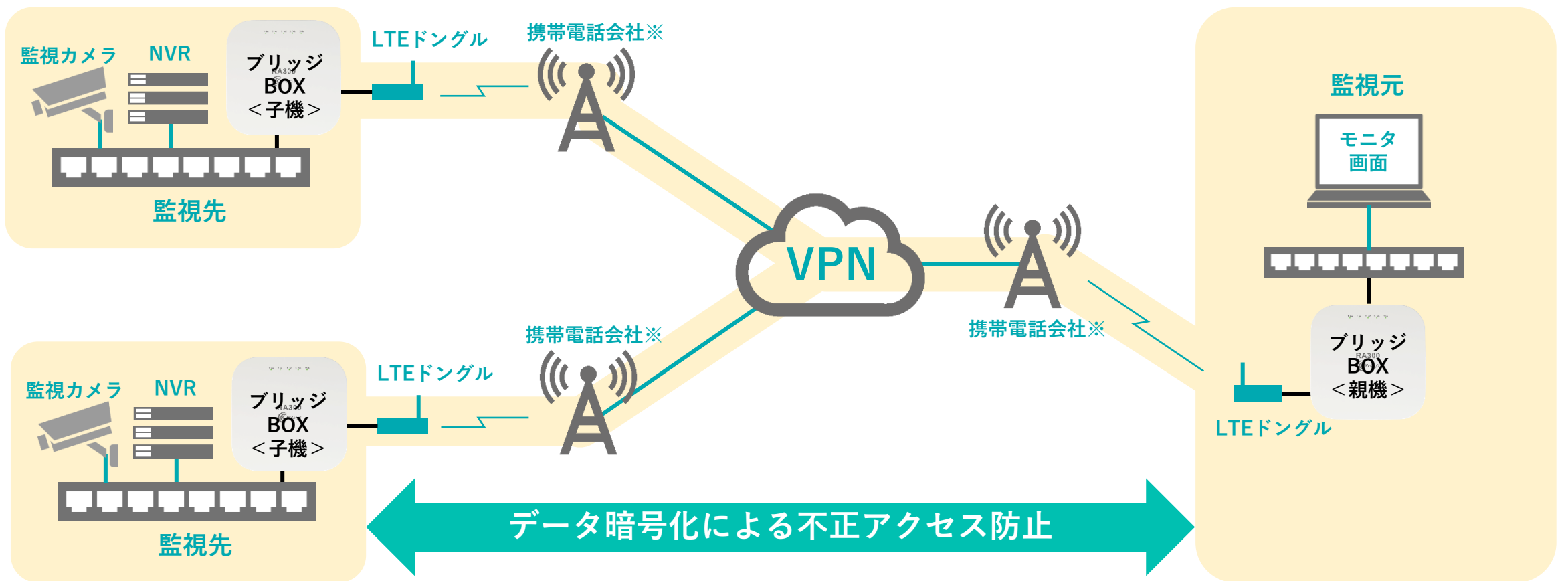
	メリット	デメリット
グローバルIPアドレス・ダイナミックDNS	昔からある一般的な方法です。カメラメーカーによるDDNSサービスもあり、多くのユーザーが利用している方法です。	インターネットへ直接公開しているため、主にパスワードによるセキュリティのみとなります。そのため、第三者がカメラ映像を覗き見るだけでなく、セキュリティ攻撃の踏み台となる場合があります。
クラウドシステム	カメラ運用に置いて、クラウドサービスにおまかせすることで、簡単にさまざまな拠点の映像管理を実施することが出来ます。	カメラ映像内に個人情報や企業内の機密情報を含むことがある場合、お客様のセキュリティポリシーによって、クラウドサービスに映像管理を委託することは是非を検討する必要があります。 既存のカメラシステムをクラウドサービスに利用できない場合が多く、システム全体の見直しが必要になります。 一般的には、カメラごとに月額ライセンスが必要になり、カメラ台数が多い場合は月額費用が高額になります。また、通信回線費用はクラウドサービスに含まれておらず、別途必要になります。
VPN	拠点と拠点を、仮想プライベートネットワークを構築します。企業間の通信において、最も一般的な方法です。	VPNの構築や運用において、ITスキルが問われます。また、新規に拠点を追加する際には、VPNルーターの準備と同時に光回線などの手配も必要です。
社内ネットワーク(VPN)	既存の社内ネットワークを利用することで、追加のコストを掛けずに遠隔から映像を見ることが可能です。	社内ネットワークに、カメラ映像のネットワーク負荷が生じることになり、既存のネットワーク運用に支障が出る場合があります。



ブリッジBOX

拠点間VPN通信構築

システム構成例 ～既存監視カメラシステムを遠隔で閲覧～



※拠点のローカルIPアドレスが同一セグメントで運用されている場合でも、カスタマイズ対応にて利用が可能です。お気軽にご相談ください。

※ブリッジBOXの専用SIMは、NTT Docomoの回線を利用しています。導入前に、NTT Docomoの4G回線の電波状況の確認が必要です。

※月々のSIM通信量は10GBです。オプションで追加していくことも可能です。下記に10GBの通信において、ネットワークカメラで映像閲覧した場合の目安を算出しております。ご参考ください。

<試算条件>

①カメラ1台の映像表示

②カメラ1台あたり約512Kbit/秒

(AXIS Communications製ネットワークカメラで試算＝画像サイズ：1280x720、コーデック：H.264、フレームレート：6fps)

⇒ 512Kbit/秒 = 0.512Mbit/秒 = 0.000512Gbit/秒

⇒ 0.000512Gbit/秒 ÷ 8 = 0.000064GByte/秒

⇒ 10GByte ÷ 0.000064GByte/秒 = 156,250秒

⇒ **156,250秒 = 約43.4時間**

パッケージ内容

NO	カテゴリ	項目	型番	備考
1	初期費用	ブリッジBOX 初期ベースパック	親機1台+子機1台のパック	BR-BP-USB-SIM ・初期設定費用含む ・USBドングルとSIMカードを含みます ・本体製品保証はセンドバック保守1年（配送費は送付元負担）
		ブリッジBOX 初期クライアントパック	子機1台のみ	BR-CP-USB-SIM ・ベースパック購入時もしくは購入後の子機（接続拠点）を増設時に適用 ・初期設定費用含む ・USBドングルとSIMカードを含みます ・本体製品保証はセンドバック保守1年（配送費は送付元負担）
3	年間費用	ブリッジBOX 年間ベースパック	ライセンス10GBプラン（1年間）	BR-BP-SIM10 ・ベースパック（親機1台+子機1台）の1年間の使用料 ・各々に月10GBの通信容量が割り当てられます
		ブリッジBOX 年間クライアントパック	ライセンス10GBプラン（1年間）	BR-CP-SIM10 ・ベースパック購入時もしくは購入後の子機（接続拠点）を増設時に適用 ・クライアントパック（子機1台）の1年間の使用料 ・各々に月10GBの通信容量が割り当てられます

※ブリッジBOX（親機1台+子機1台）を初めて導入する際、初年度は「1.初期費用ベースパック」+「3.年間費用ベースパック」が必要となります。

※申込時に拠点ごとのネットワーク情報(IPアドレス情報)をご連絡ください。そのネットワークに合わせた内容で事前設定を実施致します。

<オプション>

NO	カテゴリ	項目	型番	備考
5	通信追加パック 5GB	SIM通信費の追加パック（月末まで有効）	BR-ADD-SIM5	・申込受付後5営業日以内に適用 ・通信量は、追加適用日から月末リセット ※追加した分は、当月のみ利用可能
6	通信追加パック 10GB	SIM通信費の追加パック（月末まで有効）	BR-ADD-SIM10	・申込受付後5営業日以内に適用 ・通信量は、追加適用日から月末リセット ※追加した分は、当月のみ利用可能

更新:20211130

お問合せ

提供元



株式会社ロックシステム

<https://www.locksystem.co.jp>